



退職のご挨拶

この度、一身上の都合により、令和6年3月31日をもちまして、退職させていただきますことになりました。

これまで約12年余りの間、3町合併前の山城町商工会から木津川市商工会山城支所、木津本所を通じて、ご縁をいただいた会員事業所様には、大変お世話になりまして、ありがとうございました。

経営コンサル的な仕事がしたいと思い、税理士事務所から転職し、これまで経営支援員として業務に携わる中で、生きた経営を学ばせて頂きました。

お陰様で、多くの尊敬できる経営者の方にお会いできました。特にお二人の社長との出会いに今でも感謝しております。どちらも故人とされましたが、お一人は、「愛裁家族」店舗や「ガーデンシッターサービス」を作られた(株)アグロス・カワモトの河本茂夫社長で、もう一人が「スライドレジ台」や青果物品質保持シート「フレッシュママ」を開発された日産スチール工業(株)の西部清志社長です。

お二人の地頭の良さ、先見性、決断力、実行力、発想の豊かさに圧倒され、感激したことを今でも忘れることができません。時期は異なりますが、共に会社や商工会の会議室で、今後の事業計画を作りました。

『知恵の経営』報告書作成へ向けては、多いときは毎週1回議論し、何度も思案して完成させ、最後には実践モデル企業としてプレゼンされ、お二人とも京都府知事認証を受けられました。

お二人に限らず、成長している会社の経営者に共通することがあります。それは、『ご自分の店舗なり工場なりに真正面から向き合って、少し先の未来のお客さんを創造して、自ら先頭に立って、新たな取組みを休まず実行に移されていること。そして、早いタイミングで設備と人材へ投資されていること。』です。

逆に、政治や景気、はたまた商工会や市役所など、先に『外部の責任』にされている方は、伸び悩んでおられます。

業種によっては、昔からのお客さんのみを対象として、従来どおりの製品、商品のまま、同じ提供の仕方で商売を続けていこうとされている方には、厳しい時代です。与えられた環境、時代を受け入れて、その中でご自分がコントロールできるところに注力して、新たな挑戦をして行きましょう！

本来ならお一人お一人に直接お礼を申し上げるべきところですが、略儀ながらこの紙面にて失礼いたします。

本当にありがとうございました。

会員の皆様へ 定年退職のご挨拶



春光の候、会員の皆様方にはご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、私儀、令和6年3月31日をもちまして定年退職をさせて頂きました。永い間お世話になり有難うございました。

思い起こせば、平成元年3月14日の確定申告最終日の1日前という慌ただしい日に、当時の木津町商工会に入職して、わけも分からず1日を過ごしたことが、昨日の事のように思い出されます。

35年の間には、3町商工会が合併され木津川市商工会となり、職種も記帳専任職員・補助員・経営支援員・事務局長と変わりました。

その間には、皆様とご一緒させて頂いた数々の事業での楽しい思い出がいっぱいございます。

局長を拝命してからの3年間には、皆さまの温かいお言葉を頂戴し有難く思ったことは勿論のこと、反対に色々な事柄に悩んだ日もございましたが、今となっては、とても貴重な経験をさせて頂いたと、衷心より感謝致しております。

また、一緒にお仕事させて頂いた職員の皆様方には、いつも私を励まし支えて下さった事を決して忘れません。本当に有難うございました。

本来ですと、会員の皆様お一人お一人に、直接お礼を申し上げるべきところではございますが、略儀ながら、この紙面をお借りして、これまでご厚情を賜りました事に、心より御礼申し上げます。

これからも会員の皆様と木津川市商工会の益々のご発展を、心よりお祈り致しております。

深謝 井ノ倉 真里子 拝